

# 令和 6 年度 南会津町地球温暖化対策 実行計画（事務事業編）の取り組み結果

町では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、国の地球温暖化対策に即して、平成 30 年 12 月に「南会津町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。

この計画は、町の事務事業に関して、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取り組みを推進し、温室効果ガス排出量の削減を目的としています。

また、脱炭素社会実現に向けた基本方針や具体的な目標を定めるため、令和 7 年 3 月に「南会津町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、「地球環境にやさしい持続可能なまち」を次の世代に引き継ぐために、町、町民、事業者が連携を図り、地球温暖化対策を地域から積極的に推進し、ゼロカーボンタウンの実現を目指します。

この事務事業編の実施状況を点検して公表することで、町民や町内事業者の意識高揚につなげ、地球温暖化対策を地域から積極的に推進していくことを目指しています。

なお、この取り組みは、上位計画である第 2 次南会津町環境基本計画の環境指標にも位置付けられています。

●取組期間／平成 30(2018)年度～令和 12(2030)年度(13 年間)

●対象範囲／町の事務事業(庁舎、小中学校等の教育施設、保健センター等の福祉施設、御蔵入交流館等の文化施設、上下水道施設、その他施設や公用車の使用等に係る事務)

※指定管理者の事務事業は対象外です。

●基準年度／平成 28 年度

●対象温室効果ガス／二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)

●温室効果ガスの削減目標

基準年度排出量 平成 28 年度	削減目標	目標年度排出量 令和 12 年度
3,923.6t-CO <sub>2</sub> (3,923,628 kg-CO <sub>2</sub> )	26%	2,903t-CO <sub>2</sub> (2,903,000 kg-CO <sub>2</sub> )

## 1. 取り組みの実績

令和 6 年度の温室効果ガス総排出量は、**3,007.1t-CO<sub>2</sub>**であり、基準年度から 916.5t-CO<sub>2</sub> (23.4%)削減できました。また、前年度(令和 5 年度)からは、71.4t-CO<sub>2</sub> (2.3%)の削減となりました。

排出量減少の主な要因は次のとおりです。なお、エネルギー種別の使用量や CO<sub>2</sub> 排出量は表のとおりです。

# エネルギー使用量・CO<sub>2</sub> 排出量

## ○基準年度比較

燃料種別	平成 28 年度(基準年度)		令和6年度		CO <sub>2</sub> 増減量 (基準年度比) (kg-CO <sub>2</sub> )	CO <sub>2</sub> 増減率	令和 12 年度 目標値 (kg-CO <sub>2</sub> )
	使用量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	使用量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )			
ガソリン(ℓ)	63,362.5	147,204.8	44,969.3	104,336.6	-42,868.2	-29.1%	基準年度比 -26%削減
灯油(ℓ)	242,335.6	603,415.8	127,344.8	317,088.6	-286,327.2	-47.5%	
軽油(ℓ)	111,943.7	288,814.6	75,305.1	194,287.0	-94,527.6	-32.7%	
A 重油(ℓ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	
LPG(㎥)	10,747.6	70,396.5	6,847.2	44,849.2	-25,547.3	-36.3%	
電気(kWh)	4,859,751.3	2,813,796.0	4,521,372.6	2,346,592.4	-467,203.6	-16.6%	2,903,000.0
合 計		3,923,627.7		3,007,153.8	-916,473.9	-23.4%	
	3,923.6t-CO <sub>2</sub>		3,007.1t-CO <sub>2</sub>		-916.5t-CO <sub>2</sub>	-23.4%	2,903t-CO <sub>2</sub>

## ○前年度比較

燃料種別	令和5年度		令和6年度		CO <sub>2</sub> 増減量 (基準年度比) (kg-CO <sub>2</sub> )	CO <sub>2</sub> 増減率	令和 12 年度 目標値 (kg-CO <sub>2</sub> )
	使用量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	使用量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )			
ガソリン(ℓ)	44,360.2	102,915.7	44,969.3	104,336.6	1,420.9	1.4%	基準年度比 -26%削減
灯油(ℓ)	171,425.5	426,849.5	127,344.8	317,088.6	-109,760.9	-25.7%	
軽油(ℓ)	61,365.3	158,374.1	75,305.1	194,287.0	35,912.9	22.7%	
A 重油(ℓ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	
LPG(㎥)	6,955.3	45,557.2	6,847.2	44,849.2	-708.0	-1.6%	
電気(kWh)	4,517,945.4	2,344,813.7	4,521,372.6	2,346,592.8	1,778.7	0.1%	2,903,000.0
合 計		3,078,510.2		3,007,153.8	-71,356.4	-2.3%	
	3,078.5t-CO <sub>2</sub>		3,007.1t-CO <sub>2</sub>		-71.4t-CO <sub>2</sub>	-2.3%	2,903t-CO <sub>2</sub>

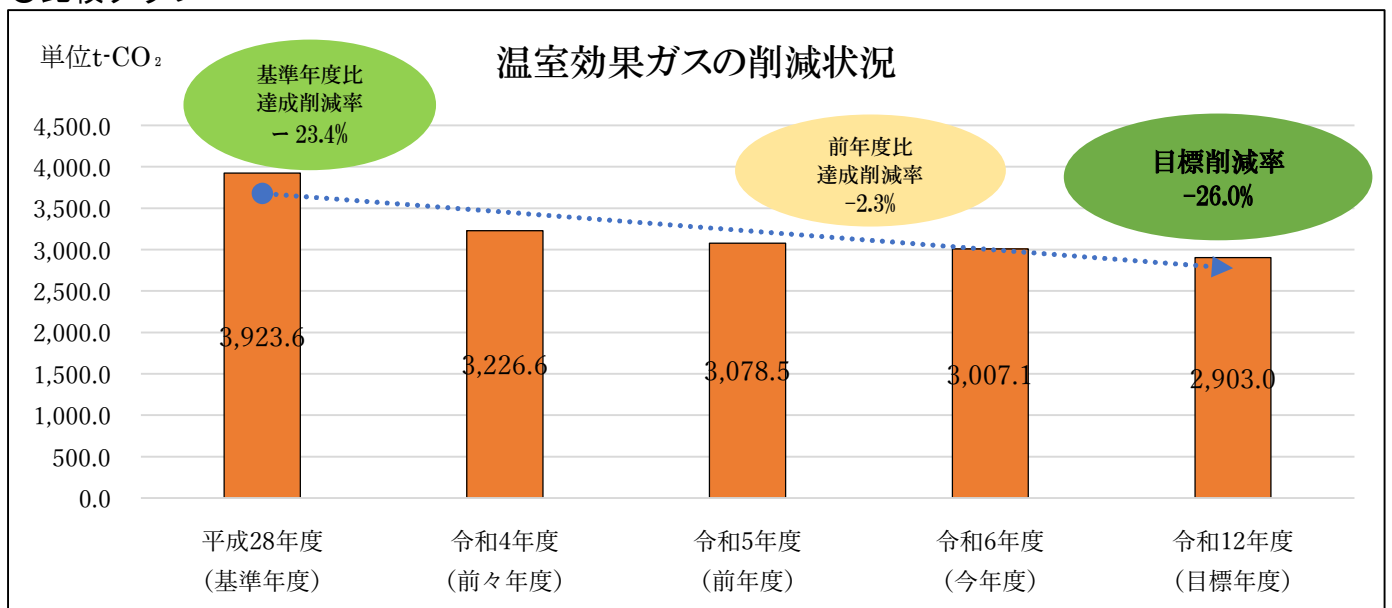
### ○基準年度から減少した主な要因

- 不必要な照明の消灯や空調機(暖房含む)使用時の適切な温度管理による電気と灯油使用量の削減に努めたため。
- 各施設での再生可能エネルギーの導入や、水道施設でのICTを利用した維持管理等により電気使用量を削減できたため。
- オンライン会議等が主となり、出張による公用車の使用頻度が減少したため。
- 施設の統廃合を行ったため。

### ○前年度から増減した主な要因

- 御蔵入交流館空調設備改修により、使用時には灯油を使用しなくなったための減。(電気で対応)  
※灯油使用量 44,388t減、温室効果ガス総排出量、110.5t-CO<sub>2</sub> 減。
- 豪雪による除雪車経費の増。

### ○比較グラフ



### 《参考》

- ガソリン1ℓを使用した場合、2.32 kgの CO<sub>2</sub> を排出します。
- 基準年度比で 916.5t の CO<sub>2</sub> が削減できましたが、これはガソリン 395,043ℓ (200ℓドラム缶 1,975 本) 分に相当します。

## 2. 地球温暖化対策に関する今後の取り組み

町の事務事業の温室効果ガス総排出量の減量化などの取り組みを平成 30 年度から 7 年間実施し、6 項目中 5 項目については、既に目標削減率に達しました。しかし、温室効果ガス排出量のエネルギー別割合で約 78% を占める「電気」使用量については、天候や気温に影響を受けるため、各施設において横ばい状態となっています。

今後は、今以上に職員一人ひとりが環境配慮の意識を高めて、省エネ・省資源に取り組まなければなりません。また、この取り組みは、行政コストの削減につながることを意識しながら職務にあたります。

### 【取組の重点項目】

項 目	電気使用量の削減	冷暖房設備の適正な運用
取組 内容	<p>◆温室効果ガス排出量のエネルギー別割合で約 78% を占める「電気」使用量の重点的な削減を目指します。</p> <p>○昼休みや勤務時間外における、業務に支障のない範囲内での照明消灯の徹底</p> <p>○OA 機器等不使用時の電源オフやスリープモードの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離席時における PC ディスプレイ等の電源オフやスリープモード設定</li> <li>・プリンタ、印刷機等常時使用しない機器の節電設定や電源オフの徹底</li> </ul>	<p>◆クールビズ・ウォームビズの通年化</p> <p>職員一人ひとりが気候等に合わせた働きやすい服装を選択することで、冷暖房運転時間の短縮に努め、電気や燃料使用量の削減を目指します。</p> <p>○冷房時の室温は 28℃、暖房時の室温は 24℃を目安に管理する。</p> <p>○冷暖房の効率的な運用に努める。</p> <p>○施設や部屋によっては、サーキュレーター等を用いて、風量調節を行う。 (庁舎施設管理運営検討委員会)</p>
項 目	公用車の効率的な利用・使用回数の節減	省資源・リサイクルに対する取組
取組 内容	<p>◆公用車の使用頻度削減と効率的な利用により、燃料使用量の削減を目指します。</p> <p>○出張時や会議等で同一方面に移動する際、相乗りの励行</p> <p>○時間に余裕を持った運転による、エコドライブの実践</p> <p>○近距離の移動における、徒歩・自転車への切り替え</p> <p>○会議等をオンライン開催で行うことにより、公用車利用回数を減らす</p> <p>○公用車更新の際のエコカーの導入</p>	<p>◆ごみの排出抑制及び正しい分別の徹底し、ごみの減量化及びリサイクル率向上を目指します。</p> <p>○両面印刷及びモノクロコピーの徹底</p> <p>○使用済み用紙の裏面再利用の徹底</p> <p>○内部文書や資料のペーパーレス化の推進</p> <p>○事務用品等は環境ラベリング商品（エコマーク、グリーンマーク等）を優先的に購入</p> <p>○公共施設のシュレーダーごみ、古紙、パンフレット等のリサイクル化</p> <p>○庁舎内のごみ分別の徹底</p>